

2027年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2026年7月31日
(証券コード6157)

目次

2027年3月期1Qの業績

P. 3	．．．	第1四半期決算の概要
P. 4	．．．	営業利益の増益要因
P. 5	．．．	損益計算書サマリー
P. 6	．．．	貸借対照表サマリー
P. 7	．．．	業績推移

2027年3月期の業績予想

P. 14	．．．	業績予想
P. 15	．．．	第1四半期における進捗状況
P. 16	．．．	配当予想

参考資料

P. 18	．．．	新製品情報
P. 19	．．．	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 20	．．．	投資指標
P. 21	．．．	株価推移とバリュエーション
P. 22	．．．	I R 情報サイトのご案内

2027年3月期 第1四半期の業績



第1四半期決算の概要

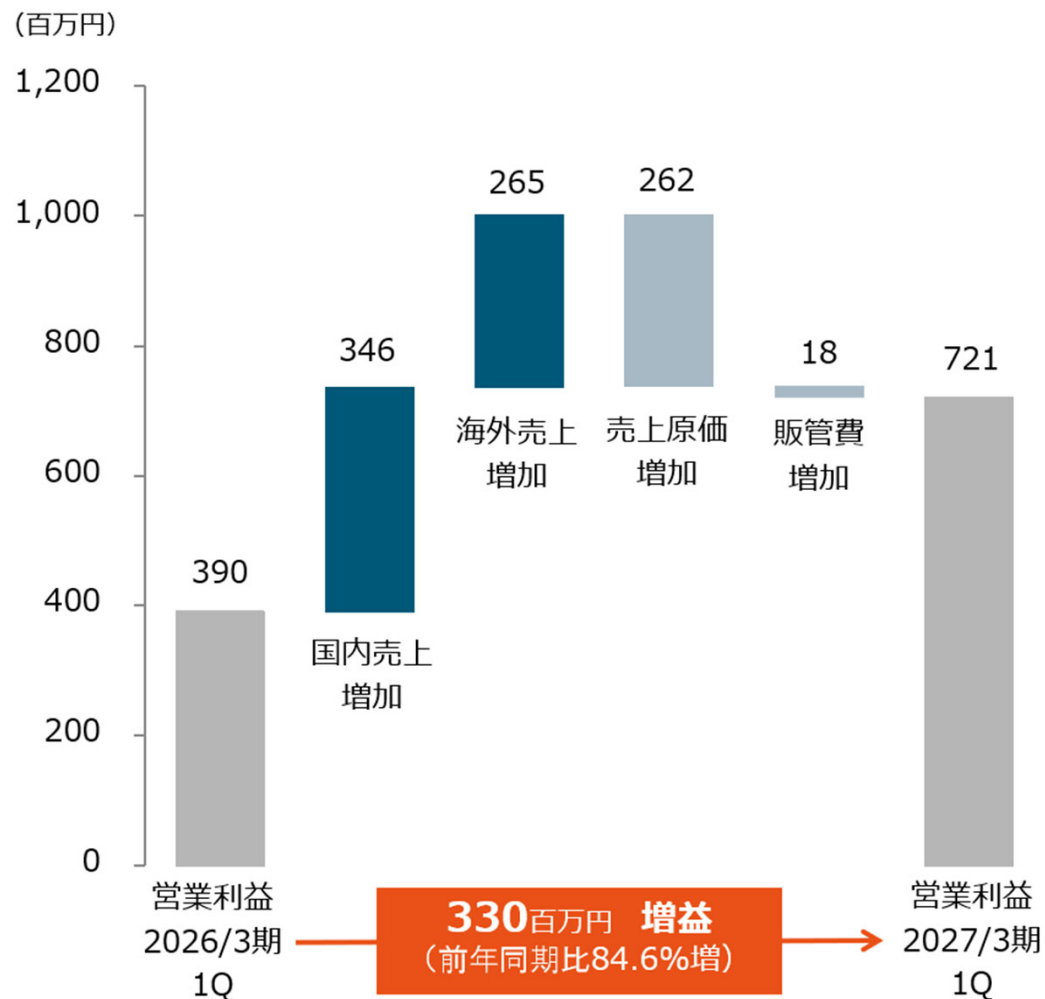
前年同期に比べ大幅に増収・増益

上期の利益進捗率は高めだが、下期は慎重な予想

(単位：百万円)	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	2027年3月期 上期予想	進捗率
売上高	2,266	2,878	5,420	53.1%
前年同期比	-0.5%	+27.0%	+18.1%	
営業利益	390	721	990	72.9%
前年同期比	+15.5%	+84.6%	+30.0%	
経常利益	399	741	1,010	73.4%
前年同期比	+17.7%	+85.6%	+28.9%	
四半期純利益	262	516	650	79.5%
前年同期比	+18.8%	+97.1%	+19.5%	

- 国内では、データセンター向けを中心としたAI関連需要の拡大を受け、半導体や電子部品関連が引き続き好調に推移した。一方、自動車関連は、EV向け投資の見直しに加え、中東情勢に起因する石油製品の供給不安や価格高騰などが重しとなり、やや低調に推移した。海外では、中華圏で自動車向けを含む光学・センサー関連の受注が好調に推移したことに加え、超硬素材の需給逼迫懸念を背景とした製品在庫積み増しの動きが一部でみられた。
- 当四半期の連結売上高は2,878百万円と、前年同期比27.0%の増加となった。
- 連結経常利益は741百万円と同85.6%の増加。売上高経常利益率は25.8%と同8.2ポイント上昇。
- 2027年3月期業績予想は2026年7月31日公表。（詳細はP.14参照）

営業利益の増益要因



- 売上高は国内が前年同期比 346 百万円、23.5% 増加、海外は同 265 百万円、33.6% 増加した。売上高全体では同 612 百万円、27.0% の増加となった。
- 売上高の増加に伴い売上原価は同 262 百万円、25.2% 増加した。増産による量産効果と原価低減の取り組みにより売上原価の増加率は抑えられた。
- 販管費は同 18 百万円、2.3% の増加となった。人件費は 4.0% 増加、販売費は展示会費がやや増加し微増。
- これらの結果、営業利益は同 330 百万円、84.6% 増加し 721 百万円となり、売上高営業利益率は 25.1% と 7.9 ポイント上昇した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	前年同期比 増減率	内容詳細
売上高	2,266	2,878	+27.0%	P. 7 - 9参照
売上総利益 対売上高比率	1,223 54.0%	1,573 54.7%	+28.6%	P. 10参照
販管費 対売上高比率	833 36.8%	851 29.6%	+2.3%	P. 11参照
営業利益 対売上高比率	390 17.2%	721 25.1%	+84.6%	P. 12参照
経常利益 対売上高比率	399 17.6%	741 25.8%	+85.6%	P. 12参照
四半期純利益 対売上高比率	262 11.6%	516 18.0%	+97.1%	
設備投資額	327	107	-67.1%	設備投資は計画通りに進捗。
減価償却費	145	135	-7.2%	
従業員数（人）	370	370	0.0%	

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2026年 3月期末	構成比	2027年 3月期1Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	13,459	68.7%	13,500	69.1%	+0.3%
現金及び預金	9,567	48.8%	9,572	49.0%	+0.1%
受取手形及び売掛金	1,418	7.2%	1,382	7.1%	-2.5%
棚卸資産	2,350	12.0%	2,322	11.9%	-1.2%
II 固定資産	6,135	31.3%	6,028	30.9%	-1.8%
有形固定資産	4,765	24.3%	4,661	23.9%	-2.2%
無形固定資産	28	0.1%	26	0.1%	-7.4%
投資その他の資産	1,342	6.8%	1,341	6.9%	-0.1%
資産合計	19,595	100.0%	19,528	100.0%	-0.3%
(負債の部)					
I 流動負債	1,523	7.8%	1,285	6.6%	-15.6%
買掛金	237	1.2%	321	1.6%	+35.4%
II 固定負債	220	1.1%	221	1.1%	+0.1%
負債合計	1,743	8.9%	1,506	7.7%	-13.6%
(純資産の部)					
自己資本合計	17,657	90.1%	17,827	91.3%	+1.0%
純資産合計	17,851	91.1%	18,022	92.3%	+1.0%
負債・純資産合計	19,595	100.0%	19,528	100.0%	-0.3%

流動資産

法人税等や賞与の支払があったものの、売上高の増加に伴い現金及び預金が増加したこと等から前期末比0.3%増加。

固定資産

減価償却により有形固定資産及び無形固定資産が減少し、同1.8%減少。

負債

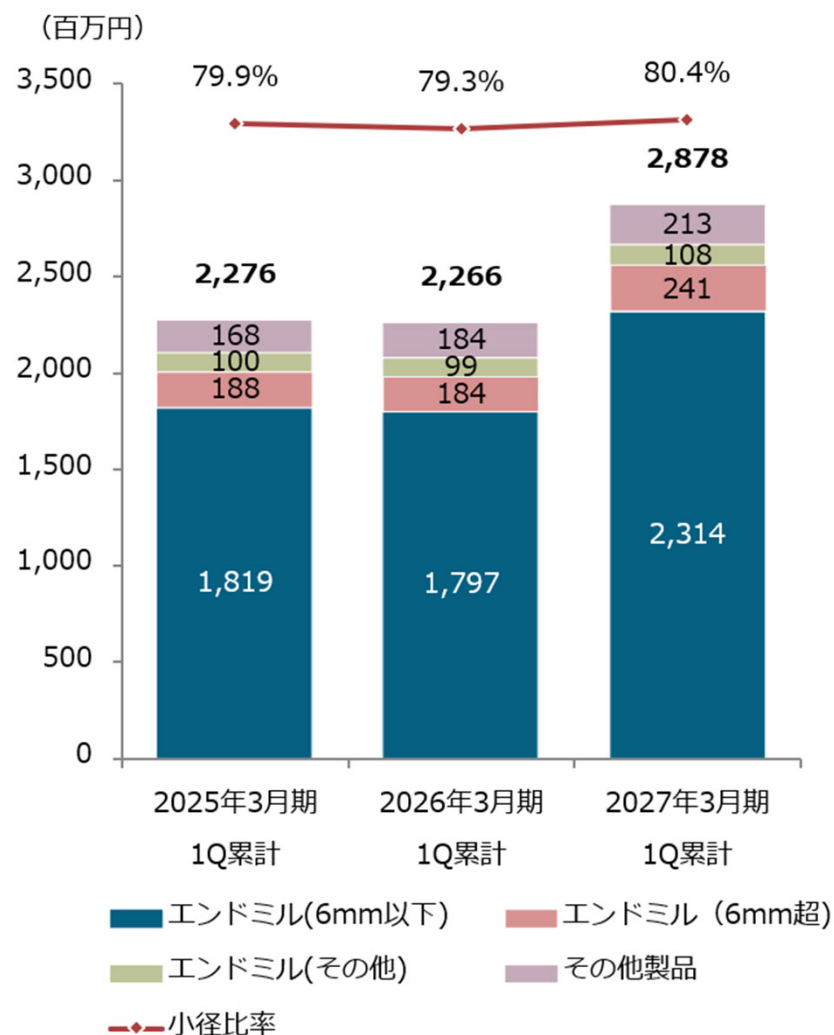
未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同13.6%減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、同1.0%増加。自己資本比率は91.3%と同1.2ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移① 製品別）

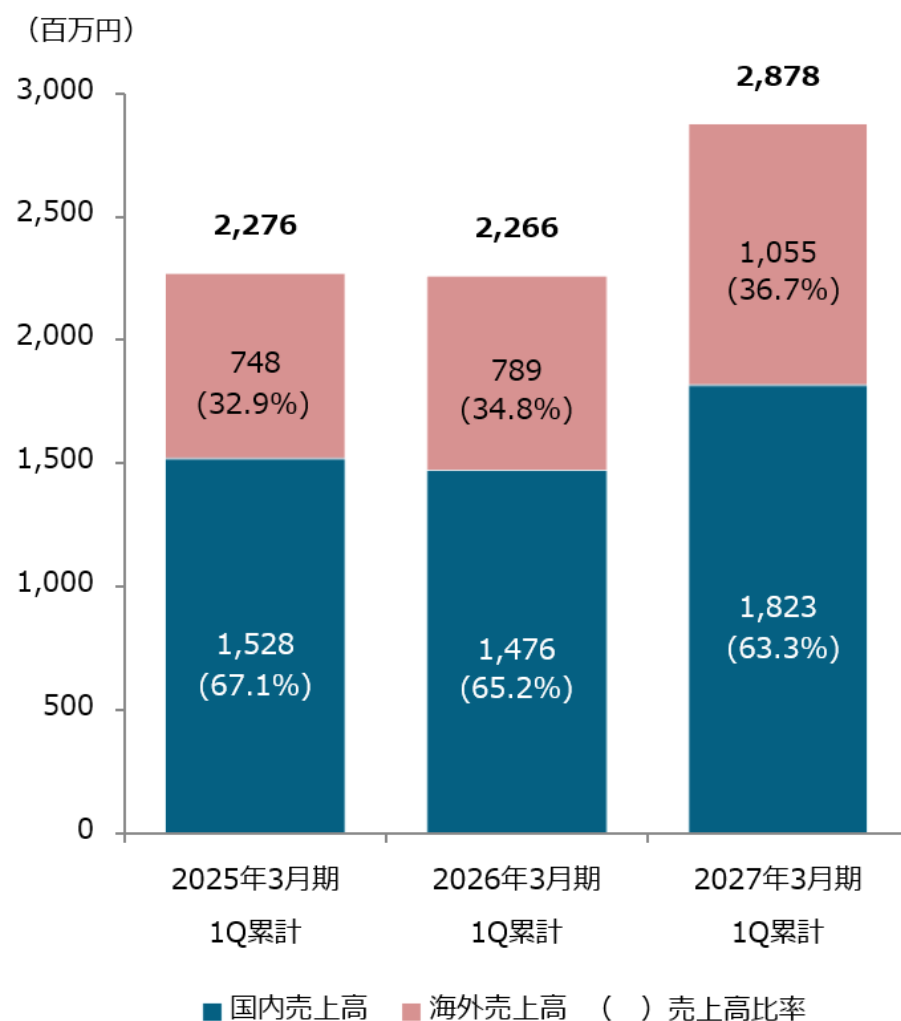
製品別売上高と小径比率の推移



- 製品別売上高の内訳は、エンドミル（6mm以下）が前年同期比28.8%の増加、エンドミル（6mm超）は同30.7%増加、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同8.6%増加し、工具ケース等のその他製品は同15.8%増加した。
- 売上高2,878百万円のうち、主力のエンドミル（6mm以下）の売上が2,314百万円となり、小径比率は80.4%と同1.1ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

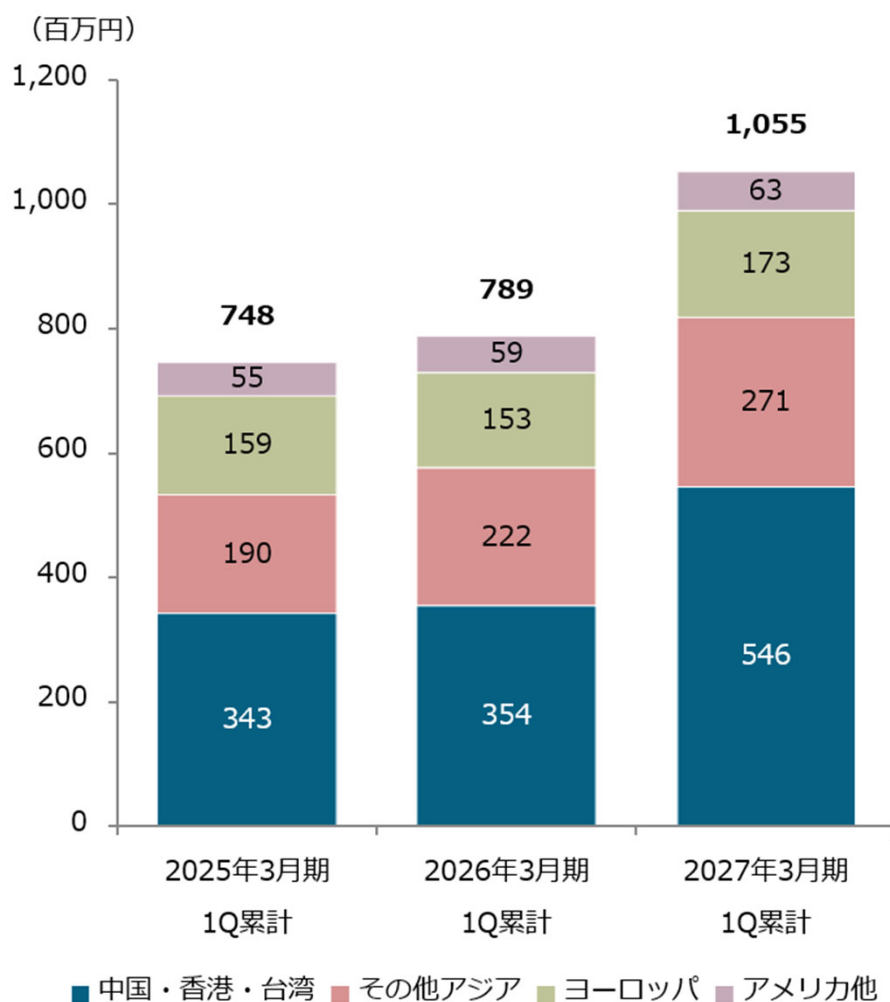
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比346百万円、23.5%増加し1,823百万円となった。半導体・電子部品関連向けが好調となったが、自動車関連は大手自動車メーカーのEV計画の見直し等も影響し、やや低調となった。
- 海外売上高は同265百万円、33.6%増加し1,055百万円であった。アジアが好調だったことに加え、超硬素材の需給逼迫懸念による在庫積み増しの動きが一部でみられた。各地域別の詳細については次ページ参照。
- 国内売上高以上の海外売上高の増加率により、海外売上高比率は前年同期比1.9ポイント上昇し36.7%となり、四半期ベースで過去最高の比率となった。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

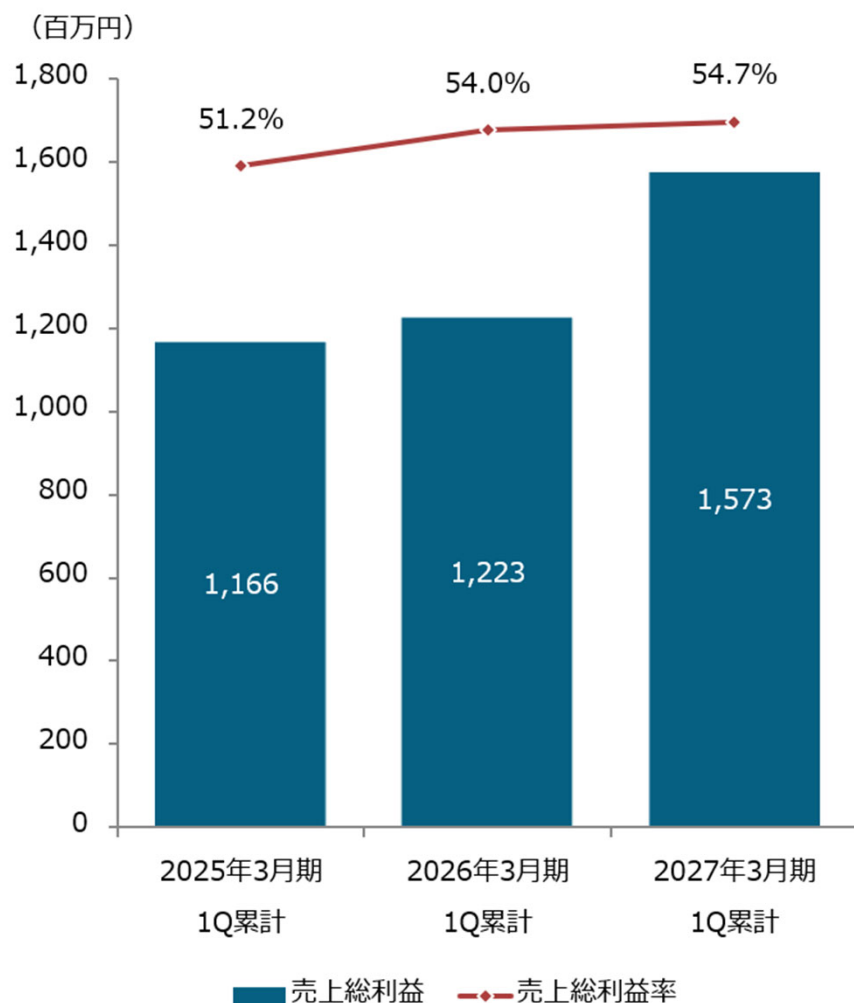
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比54.1%増加し546百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-3月分。自動車向けを含む光学・センサー関連受注獲得により好調に推移した。台湾では光学・半導体関連が好調となった。
- その他アジアは同22.3%増加し271百万円。インド・タイ・ベトナム等でデータセンター関連向け需要が拡大した。自動車関連も一部で好調な動きとなった。
- ヨーロッパは同13.0%増加し173百万円。市況は好転していないが、特定のユーザー向け受注獲得により増加した。
- アメリカ他は同6.7%増加の63百万円。NS TOOL USAの連結にからみアメリカ・メキシコ向けの数字は1-3月分。現地通貨ベースでの売上は微増、円安による円換算の影響も寄与した。

業績推移（売上総利益の推移）

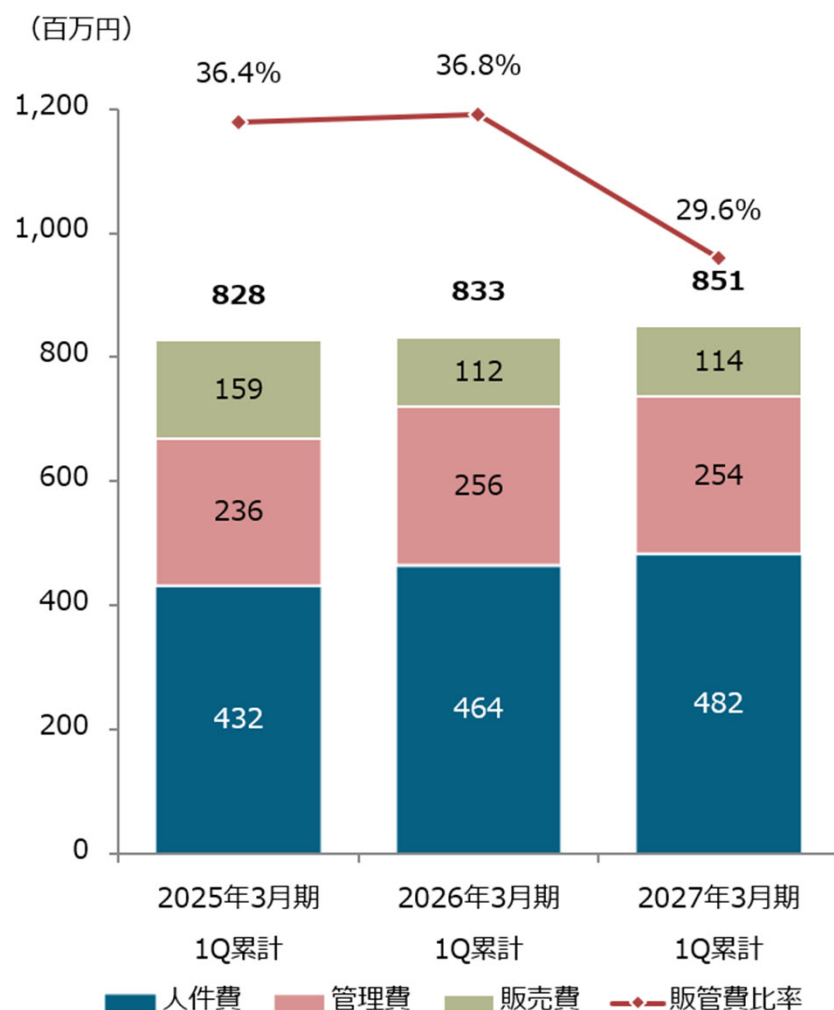
売上総利益と売上総利益率の推移



- 材料費は増産と原材料価格上昇により前年同期比29.5%増加、外注加工費は同13.3%増加、労務費は同8.2%増加、一方、製造経費は製造修繕費や製造減価償却費の減少等により同10.1%減少した。
- 売上高は同27.0%増加した一方で、売上増加に伴う増産による量産効果に加え、継続的な原価低減の取り組みが奏功し、売上原価は同25.2%の増加にとどまった。
- 売上総利益は同28.6%増加し1,573百万円、売上総利益率は54.7%と同0.7ポイント上昇した。

業績推移（販管費の推移）

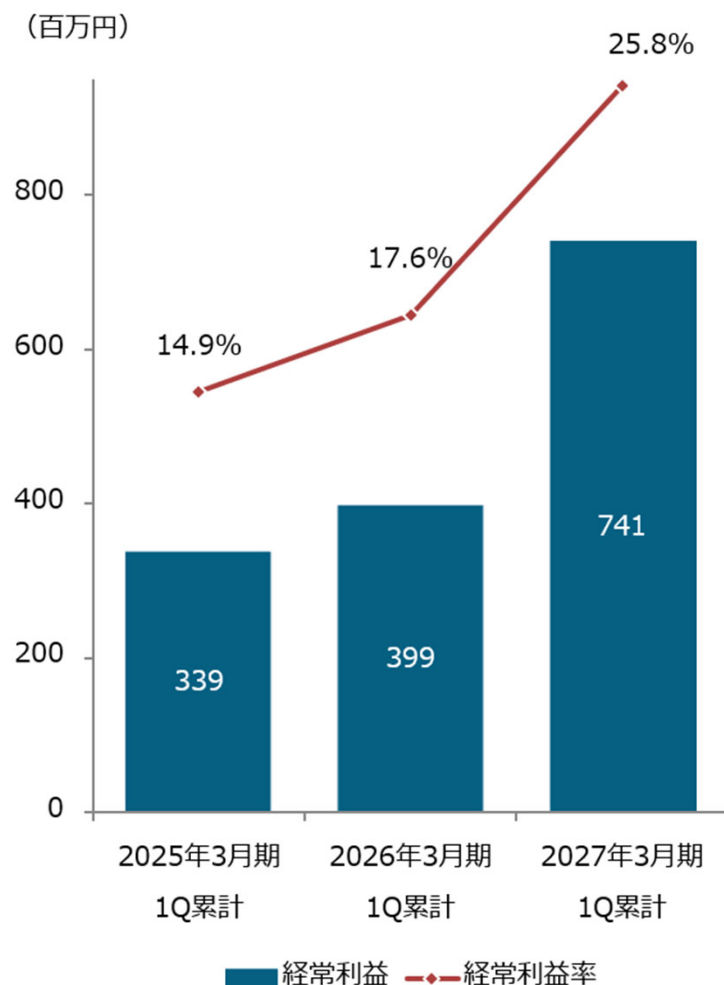
販管費と販管費比率の推移



- 販売費は前年同期比1.3%増加の114百万円。2回開催された「INTERMOLD」をはじめ、国内外の展示会出展により展示会費が増加した。
- 人件費は、賞与引当金繰入額の増加等により、同4.0%増加し482百万円。
- 販管費全体では同2.3%増加の851百万円となった。売上高が増加した一方で、販管費は大きく上昇しなかったことにより、売上高販管費比率は29.6%と同7.2ポイント低下した。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 増収により売上総利益が増加したことに加え、販管費が抑えられたことにより、営業利益は前年同期比84.6%増加し721百万円となった。
- 営業外損益は、金属廃材価格の高騰により作業くず売却益が増加したこともあり、営業外収益が営業外費用を20百万円上回り、経常利益は741百万円、同85.6%の増加。
- 売上高経常利益率は25.8%と前年同期に比べ8.2ポイント上昇した。

2027年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,494	10,570	+11.3%
営業利益	1,959	1,170	-40.3%
経常利益	2,011	1,180	-41.3%
当期純利益	1,442	780	-45.9%
設備投資額	486	957	+96.9%
減価償却費	605	659	+8.9%
E P S (円)	58.38	33.16	-43.2%
1株当たり配当金 (円)	30.00	30.00	—

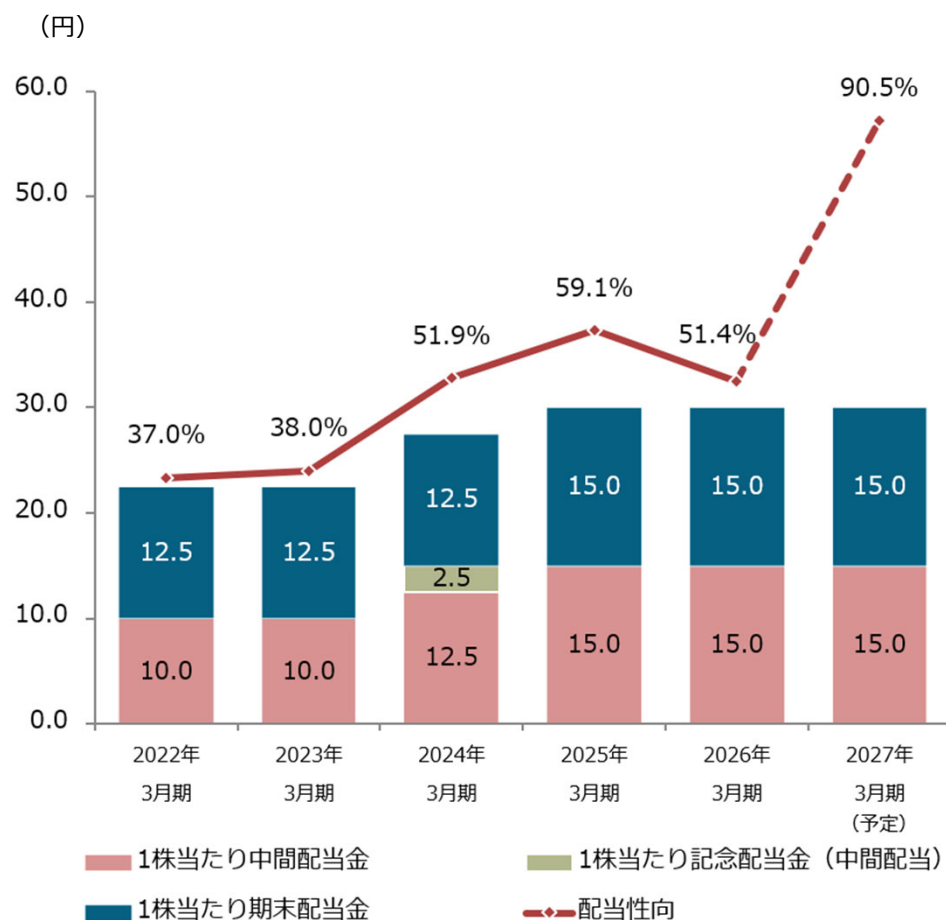
- 主原料であるタングステンの相場が不透明であったことから通期業績予想を未定としていたが、現時点で入手可能な情報を踏まえ算定。タングステン価格は引き続き高値圏で推移しており、下期以降製造原価へ反映される前提で算定。
- 販売面では、8月受注分より価格改定を実施予定。価格改定により売上高の増加を見込む。上期は価格改定前の駆け込み需要が見込まれるが、下期はその反動により販売数量が減少する予想。
- 材料費の急激な上昇により売上原価の増加を見込むため、営業利益、経常利益ともに減益の予想。
- 設備投資は、増産のための新規設備導入と継続的な生産設備の更新を実施予定。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円を予定。

第1四半期における進捗状況

(単位：百万円)	2027年3月期				
	1Q実績	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
売上高 前年同期比	2,878 +27.0%	5,420 +18.1%	53.1%	10,570 +11.3%	27.2%
営業利益 前年同期比	721 +84.6%	990 +30.0%	72.9%	1,170 -40.3%	61.7%
経常利益 前年同期比	741 +85.6%	1,010 +28.9%	73.4%	1,180 -41.3%	62.8%
当期純利益 前年同期比	516 +97.1%	650 +19.5%	79.5%	780 -45.9%	66.3%

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2026年 3月期の1株当たり年間配当金は30.0円。
 中間配当金15.0円
 期末配当金15.0円
 業績に対する配当性向は51.4%
- 2027年 3月期の1株当たり年間配当金は30.0円を予定。
 中間配当金15.0円
 期末配当金15.0円
 業績予想に対する配当性向は90.5%
- 株主優待
 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
 1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている
 株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

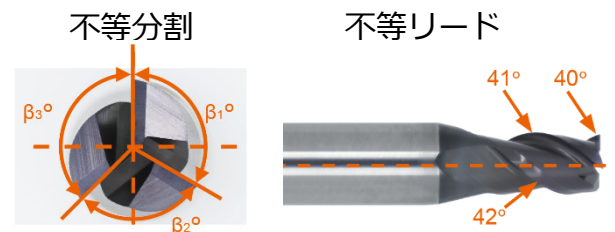
参考資料



新製品情報 (2026年6月発売)

自動旋盤用ステンレス加工用 3枚刃スクエアエンドミル『MSUS340S』

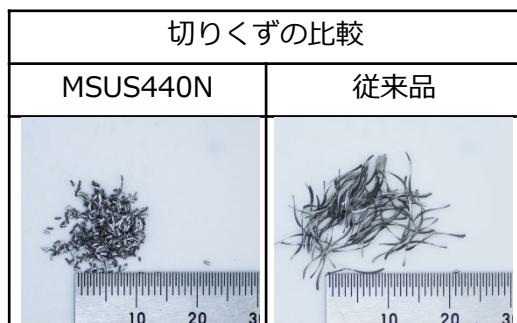
- ✓ 自動旋盤用に設計したショート刃
- ✓ 不等分割・不等リードで、びびりを抑制
⇒荒取りから仕上げまで対応



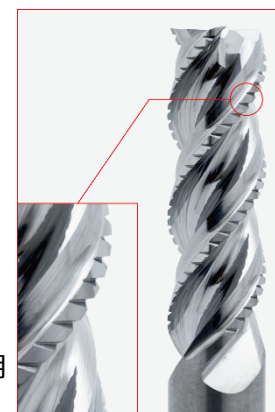
SUS・Ti用高能率ニック付き スクエアエンドミル『MSUS440N』

アルミ用高能率ニック付きスクエアエンドミル 3枚刃3倍刃長『AL3D-345N』

- ✓ ニック形状で切りくずを細かく分断し、排出性を向上
⇒機械停止や加工不良などのトラブルを防止



AL3D-345N 外周刃



刃先に小さな
溝（ニック）を採用

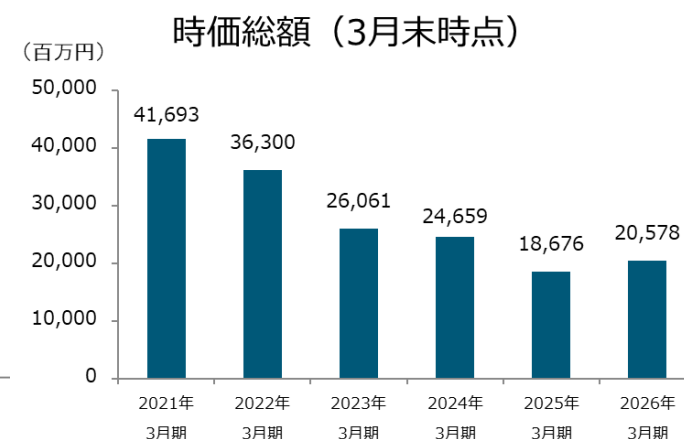
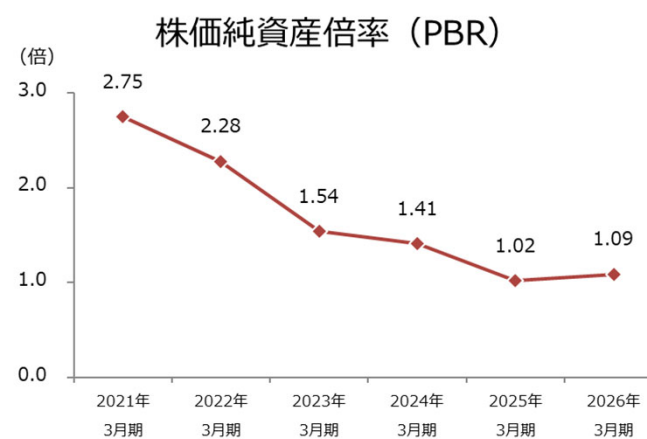
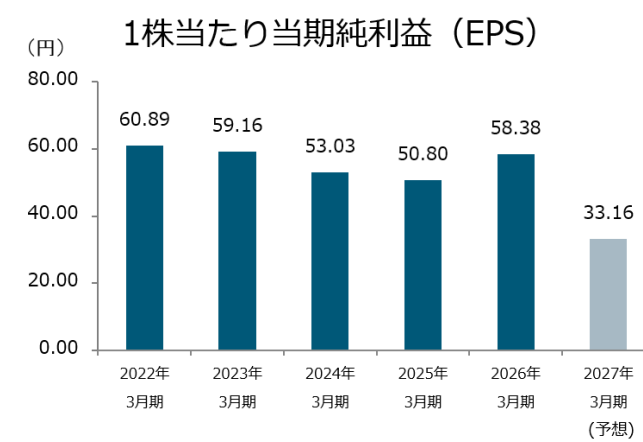
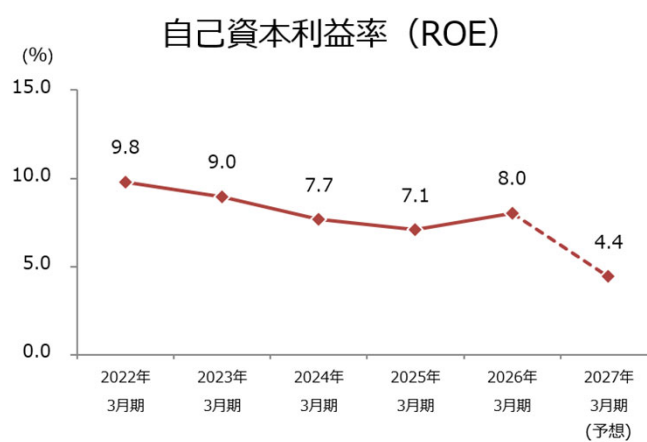
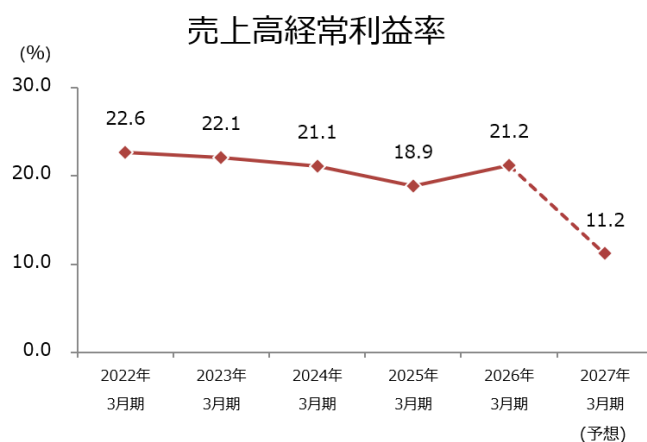


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績
売上高	9,524	9,656	9,040	9,431	9,494
営業利益	2,111	2,108	1,867	1,767	1,959
営業利益率	22.2%	21.8%	20.7%	18.7%	20.6%
経常利益	2,156	2,131	1,908	1,779	2,011
経常利益率	22.6%	22.1%	21.1%	18.9%	21.2%
当期純利益	1,522	1,475	1,320	1,264	1,442
当期純利益率	16.0%	15.3%	14.6%	13.4%	15.2%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	16,165	17,200	17,729	18,415	17,851
総資産額	17,874	18,857	19,241	19,941	19,595
自己資本比率	89.2%	90.1%	91.1%	91.4%	90.1%
設備投資額	659	686	563	111	486
減価償却費	692	669	627	644	605
1株当たり配当金（円）	22.50	22.50	27.50	30.00	30.00
従業員数（人）	348	352	350	358	364

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

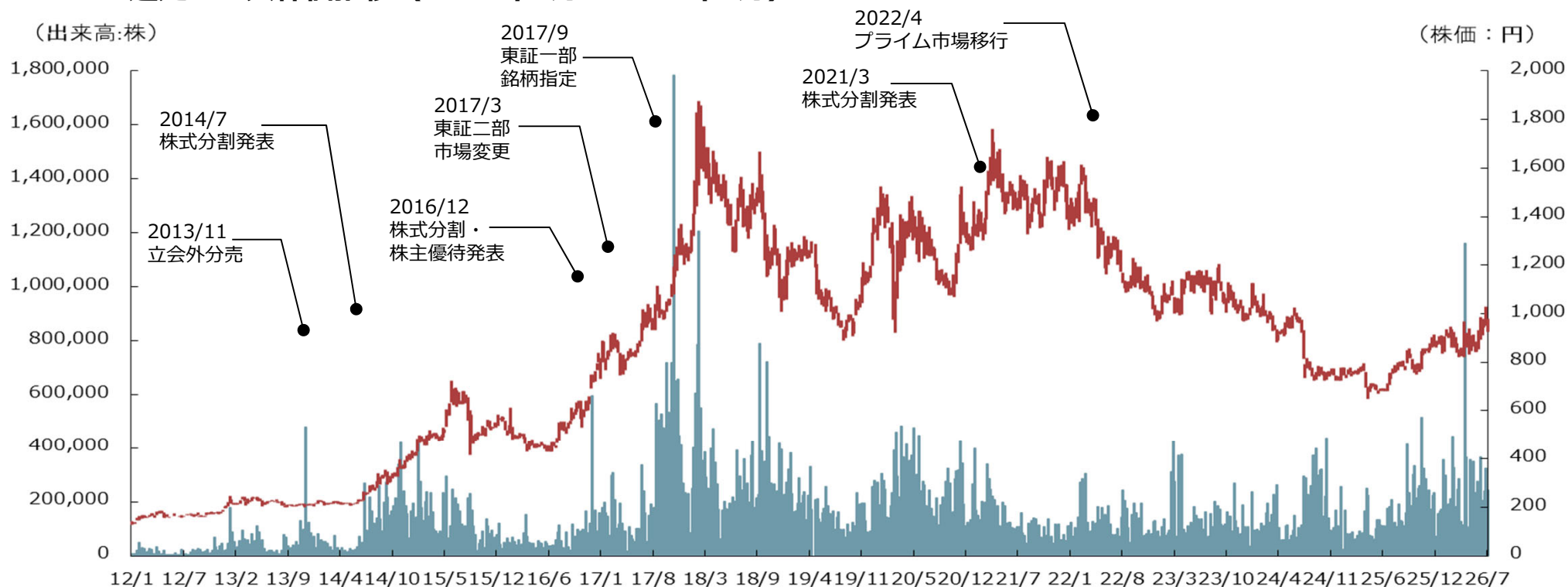
投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2026年7月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2026年7月28日現在）

売買単位	100株
時価総額	229億円
ROE (26/3期実績)	8.0%

単元株価格	9万1,600円
P E R (27/3期予想)	27.62
P B R (26/3期実績)	1.22倍

IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内



IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼財務経理部長	戸田	覚
財務経理部	経理課長	佐原	大樹
財務経理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。